



神奈川県

# はんとら 三浦半島 だより

OINFORMATION .....P2

OHello 地域で発見！  
三浦半島昆虫研究会 .....P3

O春キャベツがおいしい季節です!! .....P4

発行：神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター 横須賀市日の出町2-9-19 TEL：046-823-0210 FAX：046-824-2459

## 三浦半島ガイド&マップリニューアル！

横須賀三浦地域県政総合センターが作成した「三浦半島ガイド&マップ」は、三浦半島の地図と観光情報が1つにまとまっており、多くの方にご好評をいただいています。この「三浦半島ガイド&マップ」を約5年ぶりにリニューアルしました。

使いやすさなど、今までのよい所はそのまま残しつつ、



YOKOSUKA軍港めぐり

新しい観光情報や写真を追加しました。

三浦半島の魅力を自然、史跡&名所、名産、体験の4つのカテゴリーに分けてご紹介しています。

鎌倉の鶴岡八幡宮、三崎のまぐろなど多くの人に知られている情報だけでなく、YOKOSUKA軍港めぐりなど最近話題のスポットやまだあまり知られていない隠れた名産、名所も多数掲載しています。

三浦半島の年間のイベントをまとめたイベントカレンダーや三浦半島を彩る四季の花々を見やすくまとめた花暦は眺めているだけでも楽しい気分になります。

歴史が好きな方、素敵な写真を撮りたい方、お子さんと一緒に楽しみたい方など色々な方のお役に立てるガイド&マップとなっています。

英訳がついているので、外国から来られたお客様をご案内する時にも便利です。



叶神社(東叶神社)



三浦海岸 河津桜

新型コロナウイルス感染防止のため、実際のお出かけをためらうこともありますが、三浦半島の魅力をたっぷり詰め込んだ「三浦半島ガイド&マップ」で旅気分を味わってみてください。

このガイド&マップは、横須賀三浦地域県政総合センターや三浦半島内の各市町の観光所管課、観光協会などで配布しています。ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/d2t/kanko/p884386.html>



### ◆郵送をご希望の方◆

請求用封筒に下の宛先を明記し、返信先を明記した返信用封筒(送料分の切手貼付)を同封の上お送りください。

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9-19  
横須賀三浦地域県政総合センター  
「観光パンフレット」担当  
「三浦半島ガイド&マップ」希望

※返信用封筒は、A4サイズを折らずに入れられる大きさのものをご用意ください。  
※送料は、1部(重さ52g)140円です。  
※一度に複数希望される場合は、『パンフレットの重さ+返信用封筒の重量』をご確認の上、返信用封筒に必要な切手を貼付ください。

問合せ先：横須賀三浦地域県政総合センター企画調整部商工観光課 ☎046-823-0433

横須賀三浦地域県政総合センターホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/d2t/index.html>  
三浦半島の地域情報 Facebook「三浦半島・鎌倉かわら版」配信中! <https://www.facebook.com/yokosanan.kikaku>

# INFORMATION

掲載後に、主催者の判断によりイベントの中止・延期等が決定される場合があります。  
お出かけの前には最新情報をお問合せ下さい。

## イベント

### ■ニリンソウ特別公開

- 日時：3月27日(土)～4月4日(日) 10:00～15:00
- 場所：光の丘水辺公園
- 内容：最奥の池に群生するニリンソウの特別公開を行います。普段は立ち入りが規制され自然環境が保護されている区域で、貴重な植物や昆虫が見られます。可憐で小さな二輪の花を咲かせている様子が見学者の心を和ませてくれます。
- 申込み・料金：不要
- 問合せ：光の丘水辺公園管理事務所 ☎046-849-7650

### ■くりはま花の国ポピー・ネモフィラシーズン

- 日時：4月10日(土)～5月30日(日)
- 場所：くりはま花の国ポピー園・ハーブ園
- 内容：3種類100万本のポピーが咲き誇るくりはま花の国でポピー・ネモフィラが咲き誇ります。5月29日(土)・30日(日) 14:00～16:00には恒例の花摘み大会が行われます。
- 申込み・料金：不要
- 問合せ：くりはま花の国管理事務所 ☎046-833-8282

### ■春の盆栽展

- 日時：4月13日(火)～18日(日) 9:30～16:30 最終日のみ～16:00
- 場所：日比谷花壇大船フラワーセンター グリーンハウス内
- 内容：日本伝統の盆栽の美しさをお楽しみいただけます。
- 申込み：不要
- 料金：無料(入園料別途)
- 問合せ：日比谷花壇大船フラワーセンター ☎0467-46-2188

### ■博物館教室「そだててしらべる!カブトムシ」

- 日時：5月8日(土)、7月10日(土) 10:30～12:00
- 場所：横須賀市自然・人文博物館
- 内容：身近な昆虫であるカブトムシを教材に、飼育体験を通じて昆虫の形や生態について学

びます。1回目に配布するカブトムシの幼虫を飼育し、羽化した成虫を2回目に持参していただきます。

- 申込み：往復はがき(〒238-0016 横須賀市深田台95番地 横須賀市自然・人文博物館「そだててしらべる!カブトムシ」宛)にて。参加希望者全員の住所、氏名、年齢、☎を往信面に記載の上、4月24日(土)必着。定員20名様(抽選)。
- 料金：200円
- 問合せ：横須賀市自然・人文博物館 ☎046-824-3688

### ■自然観察会「野比海岸の地層」

- 日時：5月15日(土) 10:00～12:00
- 場所：横須賀市野比
- 内容：野比海岸で見られる地層や岩石、活断層である北武断などを見学します。逗子層や葉山層群といった横須賀の土地をつくる代表的な地層のほか、蛇紋岩や石灰岩などの三浦半島では珍しい岩石を観察しましょう。
- 申込み：往復はがき(〒238-0016 横須賀市深田台95番地 横須賀市自然・人文博物館「野比海岸の地層」宛)にて。参加希望者全員の住所、氏名、年齢、☎を往信面に記載の上、5月1日(土)必着。定員20名様(抽選)。
- 料金：50円
- 問合せ：横須賀市自然・人文博物館 ☎046-824-3688

### ■有島薫氏によるバラガイドツアー

- 日時：5月18日(火) 13:30～
- 場所：日比谷花壇大船フラワーセンター バラ園
- 内容：趣味の園芸でおなじみの有島薫氏を招いて、バラのガイドツアーを行います。※状況によって人数制限を設ける場合があります。
- 申込み：不要
- 料金：無料(入園料別途)
- 問合せ：日比谷花壇大船フラワーセンター ☎0467-46-2188

### ■春のローズウィーク

- 日時：5月22日(土)～28日

(金) 10:00～15:00

- 場所：ヴェルニー公園
- 内容：春の訪れと共に咲き誇る、美しく香り豊かな春バラが見ごろとなります。22日(土)・23日(日)には、音楽祭やバラ苗の販売、キッチンカーによる軽食販売を予定しています。
- 申込み・料金：不要
- 問合せ：三笠公園管理事務所 ☎046-824-6291

### ■博物館教室「基礎から学ぼう昆虫学」

- 日時：5月23日(日)、6月13日(日)、7月11日(日)、8月22日(日) 10:00～15:00
- 場所：横須賀市自然・人文博物館ほか
- 内容：講義・実技・フィールドワークを通して、身近な昆虫について体験的な学習を行います。学習成果は秋に横須賀市自然・人文博物館のトピックス展示にて発表する予定です。
- 申込み：往復はがき(〒238-0016 横須賀市深田台95番地 横須賀市自然・人文博物館「基礎から学ぼう昆虫学」宛)にて。参加希望者全員の住所、氏名、年齢、☎を往信面に記載の上、5月8日(土)必着。定員20名様(抽選)。
- 料金：150円
- 問合せ：横須賀市自然・人文博物館 ☎046-824-3688

### ■自然観察会「ウミウシの観察」

- 日時：6月12日(土) 10:00～12:00
- 場所：天神島臨海自然教育園
- 内容：潮が引いた磯で見られる、色鮮やかな貝のなかま「ウミウシ」を観察します。
- 申込み：往復はがき(〒238-0016 横須賀市深田台95番地 横須賀市自然・人文博物館「ウミウシの観察」宛)にて。参加希望者全員の住所、氏名、年齢、☎を往信面に記載の上、5月29日(土)必着。定員20名様(抽

選)。

- 料金：50円
- 問合せ：横須賀市自然・人文博物館 ☎046-824-3688

## お知らせ

### ■横須賀合同庁舎での出張労働相談

- 日時：毎週火曜日(祝日、年末年始を除く) 9:00～12:00、13:00～17:00
- 場所：横須賀合同庁舎1階 県民の声・相談室 電話での相談は ☎046-823-0210(代表)
- 内容：働く方や事業主の皆様が抱える様々な労働問題の解決にお役に立てるよう、無料・秘密厳守で「労働相談」を実施しています。労使関係に関すること、賃金・労働時間等の労働条件に関すること、解雇・雇止め、退職に関すること、職場のハラスメントなどの問題について、来所、電話での相談をお受けします。パートや派遣、有期契約の方なども含め、働く方、事業主の方からのご相談に広くお応えしますので、お気軽にご利用ください。
- 予約・料金：不要
- 問合せ：かながわ労働センター ☎045-633-6110(代表) 内線2715

### ■働く人のメンタルヘルス相談

- 日時：毎週火曜日(第5火曜日、祝日休日を除く) 13:30～16:30
- 場所：かながわ労働センター本所(横浜)
- 内容：働く人の心身の不調について、専門のカウンセラーが面接(要予約)でお応えします。
- 予約：各実施日までにかがわ労働センターに☎。定員各日3名様。
- 料金：無料
- 問合せ：かながわ労働センター ☎045-633-6110(代表) 内線2718

74号で実施しました「三浦半島だより読者アンケート」では、イベントや講座等の情報の充実に期待する等、貴重なご意見を多数お寄せいただきました。これからの紙面づくりに活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

## ギャラリー&amp;ガーデン

県立近代美術館 葉山 (☎046-875-2800)	横須賀美術館 (☎046-845-1211)
空間の中のフォルム アルベルト・ジャコメッティから桑山忠明まで	「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」
4/24(土)～9/5(日) 9:30～17:00 (入館は16:30まで)	4/24(土)～6/27(日)予定 10:00～18:00
<p>現代の彫刻家は、空間の中のフォルムの多様性を追求してきました。神奈川県立近代美術館は、1951年の開館以来、こうした同時代の彫刻・立体作品を積極的に収集、展示、保存してきました。本展覧会は、その70年の歩みを記念して、9つのテーマによる特集コーナーを交えて当館の代表的な収蔵品を紹介する展覧会です。わたしたちを包む空間とさまざまなフォルムの豊かな対話を改めて感じていただく機会となることでしょう。</p>	<p>近年、刺繍が注目を集めています。暮らしの中で生まれた刺繍の、独特な温もりと美しさは、伝統的な刺繍製品だけでなく、だれでも親しめる刺繍キットや雑貨モチーフとなって甦り、現代の生活に浸透しています。</p> <p>本展は、この刺繍というジャンルに着目した展覧会です。ヨーロッパに残る地方色豊かな伝統刺繍、独自の縫製・刺繍の文化を反映したイヌイットの壁掛けや、刺繍から生まれた現代のイラストレーション、ファッションなどをご紹介します。展覧会では、約230点の出品作を通して、刺繍ならではの手仕事の美しさとともに、現代生活から見た刺繍の魅力についても、改めて考察します。伝統的な刺繍製品はもちろん、現在のデザインやアートに生かされた刺繍に目を向けることで、刺繍というジャンルの多様な可能性と刺激的な一面もまた、明らかになることでしょう。</p>
<div data-bbox="327 869 561 1211" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="119 1223 778 1283">           安齊重男 《宇佐美英治の手の上のアルベルト・ジャコメッティ》            1981年 神奈川県立近代美術館蔵         </p>	

[休館日] 県立近代美術館 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合は開館)、展示替期間、年末年始(12/29～1/3)  
 横須賀美術館 毎月第1月曜日(ただし祝日の場合は開館)、年末年始(12/29～1/3)

## Hello 地域で発見!

三浦半島まると博物館連絡会会員の地域での活動を紹介します。

### 三浦半島昆虫研究会 代表幹事 中村 進一

三浦半島昆虫研究会は1977年1月23日に創立され、2021年で45年目を迎える会です。主な活動エリアは三浦半島全域で、県内近隣地域も含めた昆虫の顔ぶれや生き様を解き明かすことを目指し、各会員の活動を連絡誌「石路(つわぶき)」で共有しながら、会報の「かまくらちょう」を通じて会員外の方にも公開しています。会員には昆虫に興味を持つ方はもちろんのこと、幼少の頃から「昆虫少年」と言われた人や、専門家として活躍される方もあります。

活動拠点は横須賀市自然・人文博物館で、昆虫担当の人間と船学芸員と連携して、共同研究や博物館資料整理や観察会の協力を行っています。

定期的な活動として、年に4回の例会(一般公開\*ですので会員外の方も参加可能です)とサロン(会員限定)を交互に開催しているほか、半島内調査会を2回(春・秋)、県外調査会を1回(夏)を行っています。

博物館以外の団体・機関への協力活動としては、日本自然保護協会の「モニタリング1000」として逗子市披露山公園等の調査を行い、横須賀市自然環境共生課の里山再生活動に際して横須賀市の沢山池周辺の昆虫調査を行うほか、

同課の野外観察会「横須賀しぜん散歩」にも協力し、逗子市緑政課の「池子の森自然公園」では昆虫相の調査や保全のアドバイスをを行っています。

創立からもうすぐ半世紀、昆虫をはじめとした三浦半島の身近な自然環境には変化を感じています。かつて“湧き上がる”ように舞っていたチョウがあまりみられなくなったり、三浦半島には生息していなかった種が突然出現して目立つようになりつつあります。そこには人間社会の営みと切り離せない要因もあると思われますが、日々一つひとつ昆虫たちを観察することを楽しみながら、顔ぶれの変化や生き様に隠れた身近な自然環境の謎を解き明かす努力を積み重ねていきたいです。昆虫に関心をお持ちのかた、一緒に昆虫を見つけ触れ合うことの楽しさを味わってみませんか?

\*新型コロナウイルスの影響で当面は一般公開を中止しています。



半島内調査会(鎌倉市十二所)

ホームページ: <https://main-sankonken.ssf-holipop.jp/>  
 問合せ先 小畑 裕 (事務局) ☎046-872-1439  
 メール: obayan@jeans.ocn.ne.jp

# 春キャベツがおいしい季節です!!

～三浦半島の春を代表する春キャベツの話題をお届けします～

キャベツは、地中海沿岸などで結球しない植物として自生していたも



のが、ケールやブロッコリー、キャベツなどに分化しながら各地へと広がったとされています。

紀元前2500～2000年頃から栽培が始まっていたようです。

日本には、明治初期に開拓使とともに導入され、食の洋食化とともに一般的な野菜として広く親しまれるようになりました。

三浦半島でのキャベツの栽培は、

今から120年以上も遡る明治中期から始まったとされています。その後、大正末期には生産が本格化し共同出荷が始まるとともに、収穫時期に合わせた品種が導入され、冬キャベツ（寒玉）、春キャベツと、その中間的な早春キャベツに作型が分化しました。そして、昭和41年には国の指定産地になるなど、全国的な産地にまで成長しました。

## 春キャベツの特徴は

キャベツは、収穫時期によって、大きくは春キャベツ、夏秋キャベツ、冬キャベツに分けられ、三浦半島の主力である春キャベツは、3月後半から5月が出荷の最盛期となります。

春キャベツは、サワー系キャベツとも呼ばれ、ふんわりと柔らかく、みずみずしいのが特徴で、サラダや

浅漬けにはもってこいの食材です。

春キャベツでは、植え付け前の苗が大きくなりすぎたり、冬場の気温が高すぎたりすると、結球内に花芽ができ、場合によっては結球部を突き破ってしまうことや、そもそも結球しない場合もあり、栽培管理にはとても気を遣う作物です。

## 全国トップ5に2市がランクイン!

この時期の三浦半島の畑を見渡すと、緑のじゅうたんを敷き詰めたように、春キャベツが整然と栽培されています。三浦半島は、全国でも有数の春キャベツの産地で、栽培面積、収穫量ともに三浦市が全国第3位、横須賀市が全国第4位を誇っています。

三浦半島の春の味をぜひご賞味ください。



## 農林水産省 令和元年産野菜生産出荷統計(市町村別)

【春キャベツ】	栽培面積(ha)	収穫量(t)	出荷量(t)
銚子市(千葉県)	942	42,400	40,000
田原市(愛知県)	594	32,000	30,500
三浦市(神奈川県)	555	27,700	26,800
横須賀市(神奈川県)	140	6,710	6,400
南あわじ市(兵庫県)	134	5,570	5,300

## 春キャベツとカボチャが同居?

この時期の三浦半島では、キャベツ畑の中にビニールトンネルが出現します。このトンネルの中にはカボチャの苗が植えられていて、カボチャのつるが伸びるまでの間にキャベツを栽培し、キャベツの収穫後そこにカボチャのつるを伸ばしていき、実を成らせます。畑を効率的に使用して、キャベツもカボチャも収穫するという生産者の工夫です。



記事に関する問合せは 横須賀三浦地域県政総合センター農政部 ☎046-823-0437まで



ともに生きる社会  
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

Instagram ID: かながわ憲章【公式】

かながわ憲章

検索

